

④9宮崎県防災拠点庁舎整備事業

受賞機関 宮崎県

キーワード 南海トラフ巨大地震、十分な災害応急対策活動の場を確保、人や環境に優しい庁舎、回遊性の向上

全建賞審査委員会の評価ポイント

大規模災害時に備える宮崎県防災拠点庁舎の整備。地域・景観にも配慮しつつ、構造安全性を確保するとともに、電力・通信、上下水の確保について多重化した対策を講ずるなど、耐震と対浸水の双方に対して庁舎機能維持の確実性を高める施設整備を行っている点が評価された。

1. はじめに

宮崎県においては、南海トラフ巨大地震の発生により甚大な人的・物的被害が想定されているが、県庁舎は、耐震性能の不足や狭隘化・分散化等の状況から、防災拠点庁舎としての機能を十分に果たし得ない恐れがあった。このため、県民の生命と財産を守る災害応急対策の司令塔としての機能や、国や市町村等の関係機関との連絡調整など重要な機能を果たす防災拠点庁舎の本体工事に着手し、2020年8月から運用を開始した。

2. 事業の概要

所在地：宮崎県宮崎市橘通東1丁目9番18号

敷地面積：13,022.06㎡

工期：2017年6月～2020年7月

建物概要：【宮崎県防災庁舎（新築）】

建築面積：2,854.99㎡

延床面積：24,406.13㎡

階数：地下1階、地上10階、塔屋1階

構造：鉄骨造、一部RC造（免震）

【県庁5号館（移転・改修）】

建築面積：430.79㎡

延床面積：749.02㎡

階数：地上2階、塔屋1階

構造：RC造



防災庁舎・県庁5号館外観

3. 事業の成果

防災庁舎は、免震構造の採用により高い耐震性能を備え、最大14日間の連続運転が可能な非常用発電機を設置したほか、国や自衛隊等関係機関の活動スペースに加え、大型車両駐車スペースやヘリポートを設置するなど、十分な災害応急対策活動の場を確保し、大規模地震等においても継続的に活動することが可能となった。ほかに、エントランスホールなどの木質化やCLT（直交集成材）耐震パネルの設置に県産材を活用するなど、人や環境に優しい庁舎となっている。また、計画地には昭和元年に竣工した宮崎市の景観重要建造物である県庁5号館が保存・利用されていたことから、曳家工法にて庁舎北側に移動し、防災庁舎と一体的に整備することで、敷地周辺の良好な景観と相まって、本庁舎域の回遊性が高まった。



本庁舎域配置図

4. おわりに

宮崎県庁舎は、本館（昭和7年竣工）をはじめ複数棟の建物で構成され、防災庁舎は橘並木通りを跨いだ南側の敷地に位置している。平常時にはイベント等で一体的活用も可能であるが、南海トラフ巨大地震の発生が危惧され、台風常襲地域でもある本県では、防災庁舎の完成を機に、引き続き、災害対応力の更なる向上に取り組み、激甚・頻発化する自然災害等に備えることとしている。

賛助会員 戸田建設(株)、八千代エンジニアリング(株)